

電子計算機プログラミング

第10回シンポジウム報告集刊行について

今年、ついに第10回シンポジウムとなった。思い起こすと、このシンポジウムは、昭和35年1月、数理科学の総合研究第4班として、第1回電子計算機プログラミングシンポジウムを開き、大磯に約50名が参加したのに始まり、いまだに大磯シンポジウムという人が時々あるように、非常に印象深いシンポジウムを毎年1月に開いて来た。第4回をもって総合研究が解散されたが、このシンポジウムを続けたいとの希望が強く、ここに各地に分散している同好の研究者が一堂に会して、話し合い、論じ合う機会として、まことに得がたいとの意見が高く、毎年1月に年中行事として開催して来たのである。

10年一昔という。ここで反省して、このシンポジウムをどうするかを宿題としておいた。参会者が年毎に増して来て、本来のシンポジウムの意味が失われる様子ともなって来た。

現在では、はじめの頃とちがって、規模の大きい電子計算機が容易につかえるようになって来たし、研究者も多くの経験を重ね、その層も厚くなり、また活用分野もますます広がって来ている。若い研究者も育って来ているので、なんとかよい方法はないものか。みんなで考えたい。

いつもながら、長い期間にわたって、幹事団が具体的な企画をたて、いろいろ準備に大変な努力を重ねて、ここにこのシンポジウム開催にいたったことに深く感謝する。また慶応工学会がこの運営事務を引き受けて、シンポジウム開催に支障のないようにして下さったことを感謝する。また財的な支持を与えて下さった各社には、ここで厚く感謝する次第である。

プログラミングシンポジウム委員会

委員長 山内二郎

本 PDF ファイルは 1969 年発行の「第 10 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトに、下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載し、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者 (論文を執筆された故人の相続人) を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思えます。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日 ~ 2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>